

4 文学書道館 【予算 22,979 千円】

文学・書道資料の収集・保存、調査研究に努めるとともに、その成果を展示や催し、教育普及事業等に生かし、広く県内外から親しみ利用される施設となるよう魅力ある事業展開を図る。

(1) 顕彰、表彰事業 【予算 1,200 千円】

	事業名	概要	予算額(円)	備考
1	第11回とくしま文学賞	<p>広く県民から文芸作品(小説・脚本・文芸評論・児童文学・随筆・現代詩・短歌・俳句・川柳・連句の10部門)を募集し、発表の場を提供することにより、文芸活動の活性化、県民文化の向上を図る。</p> <p>各部門の入選作品は、「文芸とくしま」に掲載し紹介する。</p> <p>応募締切:9月30日(月)当日消印有効 発表:12月中旬(新聞紙上・館内) 表彰式:平成26年2月11日(火・祝)</p>	1,200,000	

(2) 年鑑編集・刊行事業 【予算 1,300 千円】

	事業名	概要	予算額(円)	備考
1	ことのは文庫 「寂聴文学データブック」	<p>寂聴の執筆年譜、全著作の詳細なデータ、全表紙写真、本人の年代ごとの写真などを収録する。寂聴文学を研究する人の基礎となる本を作る。</p> <p>カラー100頁、単行本サイズ 1,000部</p>	1,000,000	
2	研究紀要「水脈」 12号	<p>館が所蔵する文学者や書家に関する作品や資料等の調査研究を行い、その成果を紹介するため刊行する。</p>	300,000	

(3) 教育普及育成事業 【予算 2,673 千円】

	事業名	概要	予算額(円)	備考
1	文学講座 古典を楽しむ 「蜻蛉日記・和泉式部日記」を読む	<p>古典に親しみ、日本人や日本語を考える機会とし、現代を生きる心の糧とする。</p> <p>日時:4月～3月(全12回の各土曜) 会場:講座室</p>	252,000	
2	文学講座 芸術・文化を語る	<p>徳島ゆかりの芸術家・研究者に専門分野の話をしていただき、平和で心豊かな社会の創造について考える。</p> <p>日時:5月～11月(全4回の各土曜) 会場:講座室</p>	92,000	

3	文学講座 言の葉テーマ朗読 会	<p>展覧会のテーマに応じた文章と、「反戦」に関わる文章を朗読する。</p> <p>朗読を楽しみ、朗読の質の向上を目指す人たちに舞台を提供し、朗読を聞くことが好きな人たちに機会を設ける。講座生の中から希望者8人が5分ずつ読み、一般に公開する。</p> <p>日時:5月～1月(全4回の各日曜)</p> <p>会場:講座室</p>	10,000	
4	文学講座 知的書評合戦ビブ リオバトル in 徳島	<p>自分のお薦めする本を5分程度で紹介し、聞いていた人がどの本を一番読みたくなったかを投票する。</p> <p>徳島大学の学生が中心となって企画・運営をする。</p> <p>日時:6月23日(日)</p> <p>会場:講座室</p>	200,000	
5	文学講座 夏休み文芸広場	<p>中学・高校の文芸部員や、とくしま文学賞入賞者を中心に、文学に興味を持つ中・高校生の交流を図る。読書やモノを書くことについて意見を述べ合い、より文学への関心を高めてもらおう場とする。</p> <p>日時:7月27日(土)</p> <p>会場:講座室</p>	265,000	
6	文学講座 書くことを楽しもう	<p>先人の積み重ねてきた季語の豊かさを手がかりに、また芭蕉、蕪村、一茶など俳諧の世界にも遊びながら、花鳥風月を愛で、文章を書き綴っていく道筋を探る実習講座。</p> <p>日時:8月～12月(全5回の各土曜)</p> <p>会場:講座室</p>	85,000	
7	文学講座 徳島の文学を楽し むⅧ	<p>徳島の文学について、さまざまな角度からアプローチする。</p> <p>徳島ゆかり作家の作品や、徳島を舞台にした作品を中心に紹介する。優れた文学作品を掘り起こし、文学を楽しむ手立てとする。</p> <p>日時:9月～12月(全4回の各水曜)</p> <p>会場:講座室</p>	58,000	

8	寂聴文学講座 「私の出会った作家たち」	寂聴館長が出会った作家たちについて語る。具体的な作家のエピソードを寂聴館長から聞くことによって、作家や文学に対する興味・関心を広げる。 日時:9月～11月(全3回の各土曜) 会場:講座室	15,000	
9	第12回言の葉朗読会	朗読を楽しみ、朗読の質の向上をめざす人たちに舞台を提供し、朗読を聞くことが好きな人たちに機会を設ける。 各自が選んだ文学作品を一人5分以内で朗読する。 日時:9月28日(土) 会場:ギャラリー	10,000	
10	「月の輪草子」輪読会	寂聴文学の普及と、朗読の質の向上をめざし、寂聴作「月の輪草子」の輪読会を行う。集大成として、効果的な音楽や演出を考えた朗読会を開催する。 日時:11月30日(土) 会場:ギャラリー	100,000	
11	書道講座 七夕 星に願いをこめて	七夕にちなんだ言葉や願いごとを、小筆で短冊に書く。 日本の伝統行事である七夕を体験することを通して、文化を大切にしている心情を育て、書への興味と関心を深めてもらう。小学生を対象とする。 日時:6月30日(日) 会場:実習室	49,000	
12	書道講座 小さい印を作ろう	人気のある篆刻講座。今回は、名前の一字を12mm角の石印材に刻す。 書のジャンルの中にあって、篆刻は「作る楽しみ」を味わえるものである。書が筆を使うのに対し、篆刻は刀で刻す楽しみがあり、筆字とは違った視点で、書への理解と興味を深めることができる。 日時:9月1, 8日(各日曜) 会場:実習室	53,000	

13	書道講座 漢字の書法を学ぶ 草書	漢字の書体の一つである草書の基本的な特徴と技法を学び、古典を臨書することによって、書の理解を深める。 日時:10月9, 16日(各水曜) 会場:実習室	51,000	
14	書道講座 素敵な年賀状	手書きの文字には、書き手の個性が表れ、心が伝わるものである。 筆を使って、味わいのある素敵な年賀状を製作する。 日時:11月10日(日) 会場:実習室	49,000	
15	書道講座 書き初め 条幅に 挑戦	新年にふさわしい言葉を、大筆を使って条幅に書く。 新年を迎え書き初めをすることにより、日本の文化を大切にする心を育てるとともに、書を楽しむ心情を育てる。小学生を対象とする。 日時:1月13日(月・祝) 会場:講座室・実習室	105,000	
16	書道講座 拓本の技法と鑑賞	拓本は、石や金属に刻された文字・模様を紙に写しとったもの。その実技と鑑賞を行う。 日時:3月9日(日) 会場:実習室	79,000	

(4) 展示事業【予算 17,806 千円】

	事業名	概要	予算額(円)	
1	文学特別展 寂聴 美は乱調に あり展	寂聴は、その小説「美は乱調にあり」「諧調は偽りなり」で、革命家大杉栄、伊藤野枝、辻潤ら、それぞれの思想に命をかけ、100年後の今も根強い支持をもつ人々を描いた。 その直筆や著作を展示し、小説をもとにその生き方に迫る。また、その子孫の美術作品も合わせて展示、紹介する。 期間:4月27日(土)～6月9日(日) 会場:特別展示室・ギャラリー	3,113,000	

2	<p>文学企画展 収蔵品展 生誕 110 年記念 武原はん展一句に 生き、舞に生きー</p>	<p>徳島市籠屋町に生まれた武原はんは、関西独特の地唄舞を東京で独自の舞台芸術にまで発展させた。</p> <p>また、俳句では、高浜虚子に師事、ホトギス同人となり「はん女」と号した。</p> <p>本展では、俳人としての一面を俳句や句集で紹介し、舞とともに伝統俳句の道に精進を重ねた生涯の歩みを、はん自身の文章で紹介する。</p> <p>期間:6月12日(水)～8月17日(土) 会場:文学常設展示室</p>	189, 000	
3	<p>書道特別展 館蔵名品展</p>	<p>当館の収蔵は、貫名菘翁、中林梧竹、小坂奇石等の徳島ゆかりの作品をはじめ、日本近現代及び中国の優品も多数収蔵している。これらの中から名品を選びすぐり展示、紹介する。</p> <p>期間:6月29日(土)～8月15日(木) 会場:特別展示室・書道美術常設展示室</p>	993, 000	
4	<p>書道企画展 筆にこだわった作品展</p>	<p>書の道具の一つである「筆」に焦点をあてた展覧会。</p> <p>県内の書家に書作品を揮毫していただき、使用した筆・様々な筆を展示する。</p> <p>期間:6月29日(土)～8月15日(木) 会場:ギャラリー</p>	1,116,000	
5	<p>文学特別展 かこさとしの世界展</p>	<p>かこさとしは、日本の絵本作家、児童文学者などとして活動。「だるまちゃん」とてんぐちゃん」「からすのパンやさん」などの楽しいおはなし、また科学的な本を数多く書いているかこさとしの世界を紹介する。</p> <p>「だるまちゃん」とてんぐちゃん」は、「とくしまの子どものためのブックリスト 100 プラス!」という企画で、徳島県が推薦している。</p> <p>期間:8月20日(火)～9月23日(月・祝) 会場:特別展示室・ギャラリー</p>	2,500,000	

6	書道特別展 小坂奇石と現代書道 を築いた人々展	<p>小坂奇石は、独自の書風を確立し、昭和から平成にかけて活躍した日本の書壇を代表する書家である。当館には、主に遺族より約340点の傑作が寄贈されている。</p> <p>今回は、館蔵の小坂奇石作品及び奇石と同時代に活躍した書家の優品を成田山書道美術館等から借用し、現代書道の礎を築いた個性と魅力あふれる書作品を紹介する。</p> <p>期間:10月5日(土)～11月13日(水) 会場:特別展示室・ギャラリー</p>	3,147,000	
7	書道企画展 徳島県高校生 第3回 書道席書 創作コンクール展	<p>徳島県内の高校生から「漢字」「仮名」「漢字仮名交じり」の3分野の書作品を募集し、予選通過者は、当日に与えられた課題を当館にて席書する。席書作品(45点程度)は、すべて展示し、優秀作を表彰する。</p> <p>期間:12月7日(土)～15日(日) 会場:ギャラリー</p>	939,000	
8	書道企画展 「今年の一字」展 2013	<p>「一年を振り返り、あなたが思う今年の漢字一字」を募集し、応募のあった全ての作品を展示する。作品は、葉書を使用し、筆で漢字一字を書いたものとする。</p> <p>年代を問わず誰もが身近なテーマとし、書く人、観る人、ともに書や文字に興味と関心を深めてもらう。</p> <p>期間:12月15日(日)～27日(金) 会場:1階ロビー</p>	53,000	
9	文学特別展 庄野潤三の世界展	<p>庄野潤三は、そのルーツを徳島に持つ小説家で、昭和30年「プールサイド小景」で芥川賞を受賞し、「第三の新人」と呼ばれた。また、読売文学賞や野間文芸賞、毎日出版文化賞、日本芸術院賞など数々受賞し、わが国を代表する作家の一人である。</p> <p>本展では、直筆原稿や書簡、写真、愛用の品々を展示し、最晩年までその文学世界を深化させた庄野潤三の歩みと作品世界を紹介する。</p> <p>期間:12月21日(土)～2月11日(火・祝) 会場:特別展示室</p>	2,800,000	

10	文学企画展 収蔵品展 木本正次『黒潮の碑文』展	<p>木本正次は、新聞記者を務める傍ら、小説家として活動を進めた。</p> <p>本展では、出身地の牟岐を舞台に書いた小説を紹介し、広く県内外の人に知ってもらおう。</p> <p>また、木本正次の代表作である「黒部の太陽」は、映画化し、反響を呼んだ。</p> <p>期間:1月21日(火)～3月30日(日)</p> <p>会場:文学常設展示室</p>	90,000	
11	書道特別展 没後 100 年 中林 梧竹展	<p>中林梧竹は、近代書道史に名を連ね、明治の三大家に挙げられる書家である。</p> <p>本県では、海老塚的伝翁より寄贈の傑作を中心に約300点を県指定有形文化財として収蔵している。</p> <p>今回は、梧竹の没後100年に当たり、小城市立中林梧竹記念館等の所蔵品及び当館所蔵の中から選りすぐりを展示し、梧竹の書の変遷をたどる。</p> <p>期間:2月15日(土)～3月23日(日)</p> <p>会場:特別展示室・ギャラリー・書道美術常設展示室</p>	2,866,000	